

● 採決結果一覧表 ●

議席	氏名	会派	請願第20号	請願第21号	請願第22号
1	菅原由和	爽志	賛成	反対	反対
2	飯坂一也	公明	賛成	賛成	反対
3	三ノ宮治	爽志	賛成	反対	賛成
4	高橋政一	市民	反対	反対	反対
5	佐藤郁夫	市民	賛成	反対	反対
6	菊地孝男	創政	賛成	賛成	反対
7	千葉正文	市民	賛成	反対	反対
9	関 笙子	創政	反対	賛成	反対
10	加藤清	爽志	賛成	賛成	反対
11	阿部加代子	公明	反対	賛成	反対
12	中西秀俊	創政	賛成	賛成	反対
13	小野寺隆夫	爽志	賛成	賛成	反対
14	菅原明	共産	反対	賛成	賛成
15	三宅正克	爽志	賛成	反対	反対
16	菊池堅太郎	創政	賛成	賛成	反対
17	小野寺重	創政	賛成	賛成	反対
18	千葉悟郎	市民	賛成	反対	反対
19	藤田慶則	創政	賛成	賛成	反対
20	今野裕文	共産	反対	賛成	賛成
21	佐藤邦夫	市民	賛成	反対	反対
22	及川梅男	爽志	欠席	欠席	欠席
23	内田和良	創政	賛成	賛成	反対
24	千田美津子	共産	反対	賛成	賛成
26	遠藤敏	創政	賛成	賛成	反対
27	佐藤修孝	政凛	賛成	賛成	反対
28	菊池嘉穂	政凛	賛成	賛成	反対
29	新田久治	政凛	賛成	反対	反対
30	小野幸宣	創政	早退	早退	賛成
31	佐藤克夫	創政	反対	賛成	反対
32	高橋瑞男	政凛	賛成	賛成	賛成
33	及川善男	共産	反対	賛成	賛成
34	中澤俊明	無	議長欠席のため議事進行		

(注) 請願第20号は委員長報告「一部採択」についての表決  
 請願第21号は委員長報告「採択」についての表決  
 請願第22号は原案についての表決

※議長は採決には加わりません。(議席順。敬称略)  
 ※会派名  
 創政：創政会、爽志：爽志会、市民：市民クラブ、  
 政凛：政凛会、共産：日本共産党、公明：公明党、  
 無：無会派

850兆円を超え、国民一人当たり、650万円、700万円を超すとも言われており、主たる原因は毎年の積み上がる一般会計の赤字です。よって、持続可能な国家形成のために行財政改革を徹底的に行い、さまざまな構造の仕組みの更なる健全化をはかりながら、国民のため、日本国の発展のために合理化し、将来を展望した新しい時代に対応するため、消費税増税も一つの手立て、手法と考え、一概に中止とは言えないことから、原案に反対、委員長報告に賛成します。

**反対討論**  
 大企業大資産家への新たな減税はやめて、軍事費、大型開発、原発関連予算、政党助成金など今聖域とされている歳出を削りこみ、富裕層と大企業に自分の負担を求め、直接税に切替するなどの税制改正が必要だと思えます。また所得に応じた負担を求め、社会保障財源を確保すべきだと考え原案に賛成し、委員長報告に反対します。

**賛成討論**  
 少子高齢化が進み年寄りが増えて、年金・医療その他でお金が掛かります。その一方で歳入は全体

の歳出の半分程度しかなく、残りを借金で賄っている状態です。日本の消費税は今5%ですが、全世界を見ても5%というのは非常に低い税率であり、いろいろ問題はありますが消費税が一番公平な税制だと思いい、借金をなるべく後世に残さないという観点から原案に反対し委員長報告に賛成します。

**反対討論**  
 戦後の日本税制の根幹は負担能力に応じた負担を行うという累進課税が原則です。消費税が導入されてから22年ほど経ち、国民が負担した消費税総

額は230兆円を超える負担であります。この22年間に法人3税等の減税は220兆円であり、国民が負担した消費税のほとんどは大企業、大資産家等の減税財源に消えてなくなつたというのが実態であります。消費税は公平な税制とはいえないという観点から、原案に賛成し委員長報告に反対します。